

文化協会だより

【発行】
愛川町文化協会 広報委員会
【事務局】
〒243-0392
愛甲郡愛川町角田 251-1
愛川町教育委員会
スポーツ・文化振興課内
電話 046-285-6958



山野草と山紫陽花の押し花でクレッシェントアレンジ
(小野澤純子)



丹精込めて夫が咲かせた庭の牡丹を押し花にして…合作です (宮田鈴子)



咲き誇る薔薇の押し花で製作したアレンジメントのデザイン
(近堂玖美子)

第32回 愛川町ふるさとまつり文化展 愛川町押花協会の出展作品

各加盟団体は、文化会館や公民館などで開催する発表会や展示会、講座や教室、また、福祉施設への慰問など、広く町民の方々と交流する機会を設けております。今後も、町の文化振興施策の中で、協会が果たすべき役割を認識し、活動の継続・充実・発展を念頭におき、役員一同、一致協力し、「文化の町」を目指します。

平成28年の4月、高橋前会長の後を引き継ぐこととなり、会長に就任しました。一昨年創立四十周年を迎えた伝統ある当協会の舵取り役に就任し、身の引き締まる思いです。さて文化協会では、「町ふるさとまつり」にて実施している舞台での発表部門と展示室等での作品展示部門を一大事業としておりますが、今年は展示場所の総入れ替えを行った他、一般に募集した作品の展示等も行ったところであり、時代の变化の中、良い意味で固定せず、風通しの良い組織となるよう努めております。



愛川町文化協会会長
成瀬和治

会長あいさつ

愛川町文化協会役員名簿

(平成28年4月1日～平成30年3月31日)

職名	氏名	所属団体
会長	成瀬和治	マジック愛川クラブ
副会長	渡辺勝弘	愛川町書道同好会
"	荻田允子	愛琴会
会計	大峽健一	愛川水石奇木会
書記	荒井喜久枝	愛川華道協会
監事	沼田穰	神奈川ふだん記
"	神田政晴	愛川町囲碁連盟
理事	富田茂子	みなかみ短歌会
"	藤本弘	愛川町写真クラブ
"	山田昌弘	愛川水石奇木会
"	井上幾雄	愛川町吟詠連盟
"	鳥山英昭	愛川町囲碁連盟
"	原啓祐	愛川町民謡協会
"	岡本福寿	愛川さつき会
"	澤樹若江	愛川華道協会
"	諏訪部清江	愛川町舞踊協会
"	大塚三郎	愛川町将棋愛好会
"	小野澤ノリ子	愛琴会
"	中村由江	愛川町書道同好会
"	田中美代子	愛川町歌謡協会
"	今井ふく江	愛川茶道協会
"	高村敏雄	マジック愛川クラブ
"	木藤孝一	愛川ばら会
"	足立原美智子	神奈川ふだん記
"	梅澤静香	愛川町押花協会
"	萩原智恵子	よさこいダンスチームFunny
顧問	遠藤理敏	愛川華道協会
"	高橋篤則	愛川町写真クラブ

総会報告

平成28年5月18日(水)、愛川町文化会館3階大会議室において、小野澤町長、小島町議会議長、馬場県議会議員、佐藤教育長の御臨席をいただき、平成28年度愛川町文化協会定期総会を開催しました。

本年は役員改選の年。成瀬会長以下7名の新本部役員が報告があり、高橋前会長は、協会顧問となりました。また、協会創立時からの加盟団体であった、「スリーエークラブ」の退会報告がありました。

会場には愛川町押花協会による展示が行われ、出席者の目を楽しませていました。

新本部役員は、左記役員名簿のとおりです。



●●●● 会員募集 ●●●●

現在、文化協会に所属している19の団体では、新規会員を随時募集しております。各団体に少しでも興味がありましたら事務局までどうぞお気軽にご連絡ください。自分の趣味や特技を生かし、充実した時間を新しい仲間と過ごしませんか。

また、当協会に加盟したい文化団体もぜひご相談ください。文化協会ではふるさとまつりでの文化芸能発表会・文化展の開催など常に躍動中です。ともに、愛川町の文化活動を、よりいっそう盛り上げていきましょう。

【申込み・問合せ】愛川町教育委員会スポーツ・文化振興課内
愛川町文化協会事務局
〒243-0392 愛甲郡愛川町角田 251-1
電話 046-285-6958(直通)

平成28年度 愛川町教育委員会表彰者の紹介

平成28年4月29日(金)愛川町教育委員会表彰が行われ、当協会からは5の方が受賞されました。おめでとうございます。今後も愛川町の文化振興における更なる活躍を期待いたします。

受賞者氏名	所属
阿部 久蔵	マジック愛川クラブ
前本 美枝	神奈川ふだん記
高田 武子	愛川華道協会
今井ふく江	愛川茶道協会
高橋 雅之	愛川町囲碁連盟

(順不同、敬称略)

編集後記

平均寿命が伸び、さらに健康寿命が強調される昨今ですが、「心の潤い寿命」も伸ばしたいものです。文化協会は、趣味や特技を楽しみにして集まった方々の集合体です。誌面を通して、会員の皆様のイキイキとした「心の潤い」に満ちた姿をお伝えできればと願っています。あなたも、面白そうなることを始めてみませんか。観客よりもプレーヤーの方が断然楽しいですよ。

【広報委員会】

委員長	マジック愛川クラブ
副委員長	高村敏雄
委員	梅澤静香
委員	愛川町写真クラブ
委員	藤本弘
委員	愛川町囲碁連盟
委員	鳥山英昭
委員	愛川華道協会
委員	澤樹若江
委員	小野澤ノリ子
委員	愛川ばら会
委員	木藤孝一
題字	愛川町書道同好会
	渡辺勝弘

愛川町文化協会加盟団体の紹介

すいせききぼく 愛川水石奇木会



室内で自然石を鑑賞する「水石」は南北朝時代から始まった日本古来の文化です。水石(鑑賞石)は、山や滝、磯溜りや島々、茅葺家、姿形などの自然美を連想し、心を山水風物詩の世界に遊ばせてくれる優美な楽しみです。また、「水石」の楽しみは採石(採取)にもあります。日常生活の縛りから身も心も開放され、大自然の素晴らしいロケーションに抱かれ、川原で名石(佳石)・名木(奇木)を見つけ

出そうとする無心の行為に大きなロマンを垣間見ることができます。また、おむすびをほお張りながら採取した名石?を、和気藹々あれやこれやと論じ合う昼飯の時間帯は、さながら楽しい河原道場と化します。

当会の活動は春と秋の採石会、初心者向け研修会、友好水石クラブとの研修交流などで、一般の参加者を交え催しております。只今、男女を問わず会員の増員を図っております。ぜひ、一緒に自然を楽しみませんか。



愛川町吟詠連盟

現在6流派・会員数約40名で活動を行っています。年間の活動内容は、勉強会・発表会を各1回のほか、昨年度からレディースプラザにて、季節ごとに、一般町民向けの吟詠教室を第2・4の木曜日に開催しています。吟詠の基本は、腹式呼吸、腹式発声です。神経のバランスを整える効果があり、健康増進にも最高だと言われています。

大切なことは、ただ声を出して吟ずるだけでなく、詩や和歌から「人の心」、「春夏秋冬の趣」、或いは「人生や歴史」をひも解き、吟詠や剣舞を通して表現することで、精神修養につながるものでもあります。

今後も、日々の活動の中で精進を重ね、会員相互の親睦と、地域文化の向上を目指し、吟剣詩舞道の文化を町民の皆様方に広めていきたいと思っておりますので、「吟詠教室」にお気軽にご参加ください。

みなかみ短歌会

立科町文化展 平成28年11月4日～6日

会員の思いの籠もった短歌、三十数首を認めた色紙と短冊を持ち、二日早朝、搬入に向った。

圏央道に渋滞もなく途中、八ヶ岳、妙義山の雄大な景観を眺めつつ、次第に旅行気分となる。

立科への出品とあり何か立科に因んだ短歌をと数日を頻りに考え漸く拙い一首を作った「みすずかる信濃立科女神湖畔の白き教会未だ忘れじ」というもの。「みすずかる」とは信濃にかかる枕詞。子どもたちと夏休みに立科を訪れた折の思い出を詠んだ。

会場の立科町中央公民館にはすでに愛川町の展示スペースが広く設えてあり立科町のご厚意を思った。作業は順調に終了し、返送の手順を職員の方をお願いし会場を去った。

帰路はりんご狩りを体験。私は立科のりんごは頂くが、りんご狩りは初めてで、枝もたわわに実ったりんごが秋の陽に紅く輝く様に感動を覚えた。これで立科町との友好関係の一端を担えたと安堵感に包まれている。

後日、返送された荷の中の、観覧者ノートには十数名の方のお名前と感想が記されており皆様様に「感動した」「素晴らしい」の言葉があり立科町の皆様方に心より感謝をお伝えしたいと強く望んでいる。



ふるさとまつり文化芸能発表会・文化展

開催日：平成28年10月22日(土)・23(日) 場所：愛川町文化会館



愛琴会

“大正琴の音色に魅せられて”
感動を共有できる喜びは、最高の宝物。



愛川華道協会

今年はホワイエに会員17席、ロビーにこども教室24席出瓶いたしました。



愛川町将棋愛好会

今年も多く参加者でにぎわい、和気あいあいの中、白熱した対局が繰り広げられました。



愛川町舞踊協会

「白雲の城」 出演：高柳 倫子さん



愛川町民謡協会

「秋田大黒舞」を歌う長谷川隆さん



愛川町書道同好会

落ち着いた雰囲気の中で27点の作品を展示出来ました。